

協働事業提案書

平成 29 年 9 月 14 日

(宛先) 富士市長

所在地

団体名称 富士友の会

提案者

代表者氏名 斎藤京子

電話番号

課題リストに掲載の課題No.及び担当部課を記入してください。

No.	1	担当部課	環境部 廃棄物対策課
-----	---	------	------------

以下の欄には、「提案内容」、「事業実施に必要な条件」、「事業実施による効果」、「事業スケジュール」についてそれぞれ記入してください。別紙による提出でも構いませんが、それぞれの項目が特定できるようにしてください。

提案内容

全国友の会の組織の1つである、富士友の会は長年CO2排出量の削減に取り組んで来ました。平成25年9月20日の広報『可燃ごみ減量を目指して!』また2015年4月の富士ニュースの記事、富士市消費者運動連絡会の総会と終了後の講演会で富士市のごみの現状について学び『燃えるごみの1人1日50g減量の伝道師に』という記事を会員が見て、具体的な数字を目にしたので『燃えるごみ』と『生ゴミ』の量を調べたりして、家庭から出るごみの削減に取り組みました。この中から色々と気づきや工夫も生まれました。【ごめんなさいと捨てる食べ物をなくすために】と冷蔵庫の使い方・買い物の仕方・野菜などを燃える生ごみに出さない為に各自が行っている事を中心に前半の30分は、パワーポイントを使って実際に行っているゴミの処理や方法・食品廃棄を少なくするための工夫や冷蔵庫の中の使い方と庫内の食品を定位置する、容器の見える化をして、食品の使い忘れをなくす為に実際にやって良かった事と気づきや使用している品物の展示。机上講習では、野菜の使い切り、材料の使い方(大根を1本使って無駄なく使い切る調理を紹介する)そして作りすぎた時の対応策などを講習して、その後に試食あり、質疑応答の時間を入れて2時間の講習会を行いたい。

参考

全国友の会の鍋帽子®の開発・普及活動は平成14年度地球温暖化防止活動による環境大臣表彰を受けました

事業実施に必要な条件	大沼(2)洋
香家掛菜車(團)副	
募集数…成人男女 30人	
日 時…2018年4月から2019年3月31日迄の6回	
場 所…市内のまちづくりセンター	(富士市) 富(2)友
時 間…1回あたり2時間程度	
事業実施による効果	
<p>広報などに、家庭から出る可燃ごみの4割以上が生ごみ。この中には食品ロスも含まれていると書かれていました。私達一人一人の工夫で少しでも減らして行けば、燃えるごみの処理費用を削減でき、他に税金を使う事が出来ます、また建設を計画している新環境クリーンセンターのごみ処理基本計画で定めた可燃ごみ量の目標値になり、各家庭で取り組む小さな事が、富士市全体では、大きな減量となります。</p>	
事業スケジュール	
<p>29年11月～30年2月まで講習会の準備や資料の検討と作成(毎月1回・計4回)</p> <p>3月に富士友の会の2018年度の年間事業計画に市の委託事業を入れて担当スタッフを決める(1回)</p> <p>3月に市の委託事業スタッフ・委員会で内容・実務全体会議(1回)</p> <p>3月に委託事業スタッフと内容の検討会議(2回)</p> <p>3月下旬に会員を対象に本番のリハーサルをしてみる(1回)</p> <p>4月～翌年3月まで、当日のスタッフで本番の為の手順の実習と持ち物などの打ち合わせ(2月に1回 計6回)</p> <p>4月～翌年3月までに本番(2月に1回 計6回)</p>	

